

～皆さんの在宅での自立や社会参加を支援します～

訪問リハビリの目的として、日常生活の動作が安定すること（安心して在宅生活できるように身体機能の維持・向上のほか、効率の良い動作方法や介助方法を指導など）の他に、ご本人の趣味活動や習慣の確立などの支援があります。今回は社会参加に繋がったリハビリの一例をご紹介します。



**Aさん 男性** 脳梗塞にて当院へ入院され、軽度の左片麻痺が残存、退院後の生活の不安から、訪問リハビリを始められました。当初の目標は屋内移動や、布団からの立ち上がりが安定することでした。動作が安定していく中で、元々多趣味な方でしたので、再び公民館の集まりに歩いて行きたいと意欲を持たれるようになりました。リハビリスタッフと歩行練習を重ね、公民館まで歩行可能となり、活動に参加できるようになりました。

**Bさん 男性** 難病により言語障害や歩行の不安定さがあり、訪問リハビリを始められました。「通院が大変」とのことので、屋外用の歩行器を選定・レンタルし、歩行器の使用方法や注意点の確認、歩行練習を実施しました。次第に使い方にも慣れ、安定して使用できるようになり、通院が可能となりました。また数年ぶりの同級会への出席や、公民館での老人会にご夫婦で歩いくことができました。



このように訪問リハビリでは、皆様の“行いたい”希望を、応援いたします。

お問い合わせ先：訪問リハビリテーション事業所

電話 0263-48-6615